

第 3 号議案 2025 年度事業計画案及び予算案に関する件

「ちばし地域づくり大学校」企画運営事業は 5 年目となり、新たに町内自治会コースを開設、地域自治に取り組むカリキュラムを取り入れます。新しいカリキュラムが受講者の開拓につながるよう、広報活動を充実させていきます。四街道市みなで地域づくりセンター管理運営業務は今年度 1 年間の契約、新しいコーディネーター体制でスタートしています。また、八街市協働のまちづくり PiT の運営についてアドバイザーを担当します。

1. 組織の運営

- ・ 賛同会員の拡大は相談、講座参加など関わりを持つ機会を捉えて加入をすすめます。
- ・ 理事会は、年 5 回、基本はオンライン併用開催とします。
 - 第 1 回：7 月 17 日（木）・年間事業計画の具体的な進め方について
 - 第 2 回：9 月 18 日（木）・中間報告と下期の進め方について
 - 第 3 回：12 月 18 日（木）・年度末までの計画について
 - 第 4 回：3 月 19 日（木）・今年度報告、次年度計画について
 - 第 5 回：5 月 21 日（木）・第 26 回総会議案について
- ・ 事務局運営は、各事業を複数で担当し、事務局会議を開催（月 2 回）、事業の進捗確認や課題共有をします。

2. 相談事業・NPO の支援事業

①相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は電話、メール、面談等で常時対応し、内容により専門家（税理士、社会保険労務士、弁護士）と連携、協力し最適な対応を目指します。
- ・ NPO の事務力（会計処理、労務管理、法務局・所轄庁手続き等）を支援できるように、事務局全体で共有し専門性を高めます。
- ・ 行政が掲げる市民協働、市民活動推進に関わる研修やセミナー等の相談に対応します。
- ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワークに参画し、公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金、日本政策金融公庫、中央労働金庫、千葉信用金庫、銚子信用金庫、東京ベイ信用金庫と協力し、NPO の資金調達（寄付募集、助成金、融資）、設立等の相談に対応します。「ソーシャルビジネス相談会」の開催に協力します。
- ・ ちばし地域づくり大学校修了者に対し、運営課題へのフォローアップを実施します。

②講座事業

- ・ 令和 7 年度地域人材育成事業「ちばし地域づくり大学校」（千葉市高齢福祉課主催）を受託、地域福祉活動の担い手を育成する基礎コース（20 名）、入門コース（30 名）、ステップアップコース（20 名）、町内自治会コース（20 名）を企画運営します。受講者の確保を確実に進めます。修了者フォローアップのひとつとして、メーリングリストを活用して、情報交流や助成金等の情報提供を行います。
- ・ 「千葉県市民活動団体マネジメント事業」に企画提案、市民活動団体や NPO 法人の事務力を高め、目指した活動ができるよう、また社会的な信用度を向上させるための組織基盤づくりを支援します。講座終了後に個別相談を受けフォローアップします。多くの団体が受講できるよう後日視聴を可能とします。

③講師派遣

- ・ 各市が開催する市民活動への参加を促すための「市民活動セミナー」に講師を派遣します。
- ・ NPO のマネジメント（資金調達、広報、人材募集）に関する講師を派遣します。

3. 被災地・被災者支援事業

①福島県避難者支援、相談事業

- ・ 「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を継続し、福島県から千葉県内に避難している方（1,267名、令和7年2/1現在）へ情報提供、相談対応を行います。被災後、14年経過し自治体の担当も替わっているため、福島県担当課と県内市町の担当課を訪問し避難者支援情報を伝えます。困りごとや課題を抱える方への戸別訪問をすること、交流会を各地で開催し孤立を防ぎます。県内の支援活動団体間（6団体）でイベント、サロン開催等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁joy」を隔月（No.103～No.108）各2,000部発行、当事者に届けます。
- ・ 交流イベント『縁joy 交流会』を県内支援団体と協力して、千葉市生涯学習センターアトリウムで10/13～10/15に開催します。
- ・ 福島県避難者住宅確保・移転サポート事業は、応急仮設住宅供与終了に伴う住宅に関する相談を受け、福島県担当者や福島県復興支援員と連携して取り組みます。
- ・ 千葉県内の被災者支援活動団体の活動の継続・拡充に向けた支援を行います。

②千葉県災害ボランティアセンター連絡会にオブザーバーとして参加します。

千葉県内のNPOや社会福祉協議会、自治体など多様な主体とともに、平時からのつながりをつくり、災害時には中間支援団体として役割を担うことを検討します。

4. 地域づくりのコーディネート事業

①四街道市みんなで地域づくりセンター運営管理業務委託事業

今年度はコーディネーター2名、サポートスタッフ1名、相談担当スタッフ1名の体制で市みんなで課と協働して取り組みます。コーディネーター会議を毎月2回開催し、事業の企画・進捗管理・課題の共有をもとに日常業務をすすめます。引き続きサポートスタッフを1名を募集します。

- ・ 地域づくりに関する相談に常時対応し、登録団体や市各担当課、関係機関とつなぎ、課題解決をはかります。
- ・ みんなで地域づくりセミナーを団体の基盤強化、新たに始める市民・団体へのきっかけづくりを目的とし、コラボ四街道への申請支援や採択後のサポートを実施します。
（みんなで地域づくりセミナー 市民活動の基礎講座 5/20「市民活動の社会的な役割」、6/24「市民活動の運営資源」、7/8「市民活動の法人格」
9/24 コラボ四街道制度説明会&申請書の書き方ポイント、10月申請に向けた個別相談会、11月プレゼンのコツ、1月プレゼン練習会）
- ・ 四街道市地域支えあい推進会議に参画し、地域包括支援センター等関係機関と協力します。
- ・ 地域の高校や大学と連携して、若い世代が地域づくりに参加する機会をつくります。
- ・ アートで地域づくり「みんなのアート2025」は、子ども、障害者、高齢者などだれでも参加できるプログラム「ふるさとまつり アートでポイ捨てゼロ！」ワークショップを開催します。
- ・ 子ども支援ネットワークでは子どもを取り巻く様々な課題に対して、行政や関係機関とも連携して話し合う場を開きます。今年度は「こどもまんなか」をテーマに「こども万博」（「夢みる小学校完結編」上映）をこども食堂、子ども支援団体、関係機関と協力して開催します。
- ・ 「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくること、ものづくりにおける連携を目指し、実行委員会で行います。大きなテーブルは5/31（土）、またちばユニバーサル農業フェスタ11/15（土）開催、実行委員会事務局はNPOクラブになります。
- ・ 「みんなで災害支援ネットワーク」のメンバー相互の交流をはかり、平時から声を掛け合える関係をつくり、災害時に市民団体、行政、社協（ボランティアセンター）と連携して被災者の支援ができることを目指します。
- ・ 情報誌『みんなで』の発行は市政だよりより1回掲載し他1回のみオリジナル発行します。より

多くの市民に地域づくりの情報を届けます。

- ・ ホームページはリニューアルし更新がしやすくなりました。ブログ、Facebook、インスタグラムなども活用し、地域づくり情報を効果的に発信します。
- ・ 団体基本情報をホームページで公開し、市民の関心と理解を深め活動への参加につなげます。

②多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業

- ・ 開設から 12 年目（自主事業 7 年目）経過。地域の交流スペースとしての役割が定着してきました。生活クラブ子ども食堂基金助成を受けて「あおぞら市」を開催します。介護予防の健康体操やヨガ、「まちの談話室」、シニア英会話、検見川の歴史講座等、場を活用して人々の交流を図ります。さらなる「場」の活用をすすめます。
- ・ 新たに簡単なランチを提供し、住民の交流の機会を提供します。
- ・ 乳幼児の親子対象の「すくすく広場」を始め、親子の居場所づくりをすすめます。
- ・ 県内の福祉施設事業所 5 団体の協力を得て、販売事業を継続します。

③八街市協働のまちづくり PiT へのアドバイザー事業について

- ・ 八街市協働のまちづくり PiT の運営について、アドバイスをを行います。月に 1 回コーディネーター会議とオンライン情報共有会議に出席します。

④ならしのプロボノ事業

- ・ 習志野市市民協働型委託事業として 2 年目。若い世代、働く市民が市民団体に参加することを促すと同時に、団体の組織基盤強化をサポートするプログラムです。内容は市民活動団体の困りごと相談と募集説明会、社会人ボランティア募集説明会を行い、オリエンテーションを含めて伴走支援、活動報告会までを実施します。チーム型と個人でのプロボノ活動を実施します。これまでのプロボノワーカーも事業サポーターとして関わります。

⑤千葉県地域ボランティア活動環境整備事業

- ・ NPO 法人サービスグラントが受託実施する事業に協力、ボランティア受入れ団体の発掘、プログラム開発等を伴走支援するとともに、県のボランティアマッチングサイト「ちばボランティアナビ」の活用を促します。

⑥SAVEJAPAN プロジェクト事業

- ・ この事業は、「みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境」をテーマに損保ジャパン、日本 NPO センター、全国の環境保全団体、中間支援団体が協働で実施します。2025 年度 9 月以降も引き続き、おしどりの里を育む会(富里市)が実施団体となるよう申請し、地域住民の参加で希少生物(ホタル、サシバ、カワセミ、カタクリ、春蘭)の植生調査、イベントを開催します。

⑦第 14 回ユニバーサル農業フェスタ in 四街道 11/15 の開催について、実行委員会事務局を担います。

NPO 法人地域創造ネットワークちばが 2024 年度で解散したため、事業を引き継ぎます。

5. 市民活動・市民事業に関する情報の収集及び提供（広報事業）

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」各号テーマを決めて取材、編集、年 4 回（7 月、10 月、1 月、4 月号）各 800 部を発行します。会員に配布する他、県内市町村市民活動サポートセンターや行政担当窓口、全国の中間支援組織などに送付し、情報発信します。
- ・ メールマガジンは会員など約 671 名宛に月 2 回配信します。掲載する情報は NPO クラブが主催するセミナーや会員、行政、関係機関からの助成金、イベント情報等を収集し提供します。講座参加者・団体など配信先を適時追加し、より広く情報提供します。
- ・ 団体ホームページ、「ちばし地域づくり大学校」ホームページ、ブログ「NPO クラブ こんなこと あんなこと」「縁 j o y 東北～エンジョイ東北」を適時更新します。
- ・ 団体、おおなみなみの Facebook ページや団体の X などの SNS では、主催するイベント、セミナー等の開催案内や活動状況を動画なども活用しながら効果的に情報発信します。
- ・ 千葉日報社の情報ポータルサイト「ちばとび！チャンネル」内の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」に記事提供、より広い層が市民活動に関心を持てるよう情報発信を行います。

6. 行政、他組織との連携・協力事業

- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が実施する寄付募集プログラムや助成プログラムの広報等に協力します。
- ・ 生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換や交流、研修会に協力し地域づくりをすすめます。つながる経済フォーラム世話人会、ちば社会的連帯経済研究所の活動に協力します。
- ・ 全国ボランティア推進団体会議「民ボラ」今年度は、静岡で7/5,7/6に「言い逃げ社会に抗う-市民活動は何ができるか」をテーマに開催予定。ボランティア推進団体、中間支援団体などの役割、運営のあり方を考える場として連携、世話人団体として協力します。
- ・ 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支援組織との連携を図り、支援力の強化をすすめます。
- ・ 千葉県社会福祉協議会の政策調整委員、千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員に就任します。
- ・ 県・市の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に対応します。関連する施策や制度について中間支援組織の立場から発言し、協働による地域づくりに貢献します。
松戸市協働のまちづくり協議会、印西市まちづくりファンド選考委員会、大網白里市住民協働事業審査会、千葉市緑区補助金審査アドバイザー、習志野市協働推進委員会、市原市市民活動・協働推進委員、富里市協働推進委員、千葉県県民活動推進懇談会、千葉県支援組織ネットワーク協議会幹事、千葉市市民自治推進会議、千葉県社会福祉センター指定管理者選定委員、千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会
- ・ NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター監事（勝又）に就任します。
NPO 法人ほっとハート監事、生活クラブ生協千葉監事（鍋嶋）に就任します。
認定 NPO 法人コミュニティケア街ねっと理事（赤木）に就任します。

『2025 年度活動予算案』

- ・ 経常収益合計：35,705,000 円、事業費は 30,442,800 円、管理費は 5,604,000 円
経常費用合計：36,046,800 円 経常損益：▲341,800 円

収入として予算化した内容は以下になります。（営業外収益を除く）35,695,000 円

- ・ 賛同会費収入 350,000 円、運営会費収入 435,000 円、寄附金収入 800,000 円、
- ・ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業 8,770,000 円
- ・ 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 8,300,000 円
- ・ 福島県県外避難者住宅確保・移転サポート業務委託 108,000 円
- ・ ちばし地域づくり大学校 11,337,000 円
- ・ 千葉県市民活動団体マネジメント事業 1,477,000 円
- ・ 千葉県ボランティア活動環境整備事業 800,000 円
- ・ 八街市協働のまちづくりコーディネーター育成事業 210,000 円
- ・ SAVE JAPAN プロジェクト事業 1,500,000 円
- ・ ならしのプロボノ事業 500,000 円
- ・ おおなみこなみ運営事業 810,000 円
- ・ その他事業収入（講師派遣、委員謝金等） 300,000 円